

みんなの『かーちゃん』!みぞ汁みたいなあったかい愛情♪



映画サロンなつかしの名画座実行委員会
みの~れ支援隊 Staff Egg
演劇ファミリー Myu・チームアラカルト
やまもと かず え
山本一恵さん

「みの~れは、いろいろなことを
楽しませてくれる場所」と笑顔で
語る山本さん。

みの~れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.111

稲穂の絨毯が黄金色に輝き、実りの秋がやってきました。稲一株からお茶碗1杯分くらいのお米が採れる
そうですよ。にぎやかだった蝉の鳴き声から、静かな虫たちの鳴き声が聞かれるようになりました。のんび
り映画を観たり、本を読んだり秋の夜長を楽しみましょう。
今回は、映画サロン「なつかしの名画座実行委員会」、みの~れ支援隊「Staff Egg」、みの~れ
住民劇団「演劇ファミリー Myu」に在籍する石岡市在住の山本一恵さん取材します。

人手が 足りない時は 手伝います!

『かーちゃん』の愛称でみんなに
親しまれている山本さん。

山本さんのみの~れとの出会いは
「みの~れのこけら落としミュージ
カル公演 田んぼの神様」に、
『年配役の人が足りないから出演し
て』と声をかけられ、すでに稽古が
始まっていた Myu に3~4ヶ月遅
れて入り、『おばガエル』という役
で舞台上立ちました。こけら落とし
公演が終わってから14年が過ぎ、
なぜ今でもずっとみの~れに関わっ
ているのかというと、小美玉の住民
ではないのに、みの~れにはお世
話になってるので恩返しのためも
関わっています。『かーちゃん』と
いうニックネームはみの~れに関
わって以来ずっと呼ばれているん
ですよ」と嬉しそうに話してくれまし
た。

また、「みの~れで最初に活動し
たボランティアは、みの~れの舞台
技術管理マネージャーの阿部さんの
そばで、文化祭や幼稚園の発表会の

時の舞台裏を安全管理したこと
現在は、みの~れ支援隊の舞台技術
部門「Staff Egg」のメンバ
ーとして舞台の安全管理はもちろ
ん照明や音響の操作までしており
昔も今も変わらず、毎日みの~れに
来ても苦ではないくらい楽しいです
と山本さん。みの~れでのボランテ
ィア活動だけでなく、ヘルパー2級
の資格を取ったり、植え木の剪定・
ふすま張・掃除のメンテナンスなど
の講習会に行くなど、何事にも活発
な山本さん。そこまで積極的になる
目的は?と聞くと、「色々なことを
覚えて、少しでも人の役に立てたら
いいなと思って」と素敵な笑顔で
答えてくれました。

全国様々なホールとつながりを
持っているかーちゃん。今度ほど
ここのホールでコンサートがある
から来れる?と問われれば「いい
ですよ!」とどこまでも飛んでいく
まるで、どこでもドアを持っている
のでは?と思えるくらい。パワー全開
で、コンサートやお芝居を鑑賞した
りお手伝いをするために、遠いところ
でも行けるところはどこへでも行
くそうです。

山本さんの元気の秘訣は、畑仕事。
「無農薬野菜を作って、様々な方々

に食べてもらっています。東日本
大震災の時には、災害対策本部に
なっていたみの~れに、前日に採っ
てあった聖護院大根やカブ入りの
お味噌汁を作って持って来たの。
みんな温かい物が食べたかった
ね」と山本さんは話します。みんな
かーちゃんの優しさに身体だけでは
なく心も温まったでしょうね。

山本さんにとってみの~れは
「色々な事を楽しませてくれる場所
です。これからもずっと関わってい
こうと思います。人手が足りない時は
手伝います!をモットーに。どんどん
声をかけてくださいね」と話す山本
さんはキラキラしていました。

最後に、山本さんが実行委員とし
て関わる映画サロン「なつかしの名
画座」が、10月10日(月・祝)の上映
を最後に、幕を下ろします。第39
回最終上映作品には山田洋次監督の
『息子』が選ばれました。「毎回、
楽しんで、かつ工夫を凝らして取り
組んできました。最後の名画座是非
たくさんの人に観に来てもらいた
いです」と意気込みを語ってくれました。

(藤田佐知子)